

参考資料



よつもん

新たな「大分県長期教育計画」策定に向けた 子どもへの意見聴取について 【概要】



1. 子どもへのアンケート調査について

I アンケート調査の概要

1. 目的	大分県の教育や学校のあり方を示す新たな「大分県長期教育計画」を策定するにあたり、本県教育の主役である児童生徒の意見を反映させる。
2. 対象	県内の国公立学校に通う小学校5年生から高校3年生までの児童生徒 ※調査対象区分 小 学 校 : 国立・公立・私立小学校5～6年生、 公立義務教育学校5～6年生 中 学 校 : 国立・公立・私立中学校1～3年生、 公立義務教育学校7～9年生 高等学校 : 公立・私立高等学校1～3年生、定時制、通信制、 大分高専1～3年生 特別支援学校 : 国立・公立特別支援学校小学部5～6年生、 中学部1～3年生、高等部1～3年生
3. 期間	令和6年7月1日（月）～令和6年8月9日（金）
4. 方法	1人1台端末を用いたWebアンケート (Microsoft Forms使用) 
5. 設問	(1) 学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいことを次の①から⑭の中から3つ選んでください。 (優先度が高いものから3つ選択) 【選択肢】 ①もっとわかる授業や自分の力に合った授業がおこなわれること ②命を大切に、他人を思いやることの大切さを学ぶ授業や活動がおこなわれること ③楽しく運動ができる授業などがおこなわれること ④体が不自由だったり、けがをしたり病気になったりしても、安心して学べること ⑤英語などを使って外国人と交流したり、外国について学べたりする授業がおこなわれること ⑥進学や仕事について見たり、聞いたり、体験できること ⑦辛いことや悩みがあれば話を聞いてくれること ⑧学校に行きづらくても、学習したり他の人とふれあったりする場所や方法があること ⑨地震や津波などのときに自分を守るための勉強や、防災について学べること ⑩タブレットやパソコンを使った授業がおこなわれること ⑪好きな運動・音楽・美術など、スポーツ少年団や部活動、スポーツクラブの活動に参加できること ⑫先生と話や相談ができる時間がたくさんあること ⑬地域の人とふれあい、一緒に活動をする（地域の人との放課後学習や地域のお祭りなど） ⑭身近な地域の文化や歴史を学ぶ活動がおこなわれること (2) 学校をより良くするためにこうしてほしいと思うあなたのアイデアを教えてください。(自由記述) 

Ⅱ 結果の概要

1. 回答数

57,636件（回答率 約72%） ※回答は任意

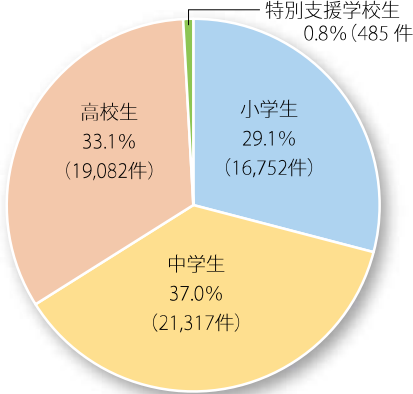
（参考）調査対象者数：約8万人（令和5年度学校基本調査より算出）

2. 学校
学年
種別

小学生・中学生・・・38,069件

高校生・高専生・・・19,082件

特別支援学校生・・・485件



学年	回答数	割合
小学5年生	8,502件	14.8%
小学6年生	8,250件	14.3%
中学1年生	7,126件	12.4%
中学2年生	7,495件	13.0%
中学3年生	6,696件	11.6%
高校1年生	6,882件	11.9%
高校2年生	6,381件	11.1%
高校3年生	5,661件	9.8%
高校生 （定時制・通信制）	158件	0.3%
特別支援学校生	485件	0.8%

（注）義務教育学校及び高専の回答数は相当学年に含めている。（次頁以降も同様）

例：小学5年生は小学5年生と義務教育学校5年生の合計

中学1年生は中学1年生と義務教育学校7年生の合計

高校1年生は高校1年生と高専1年生の合計

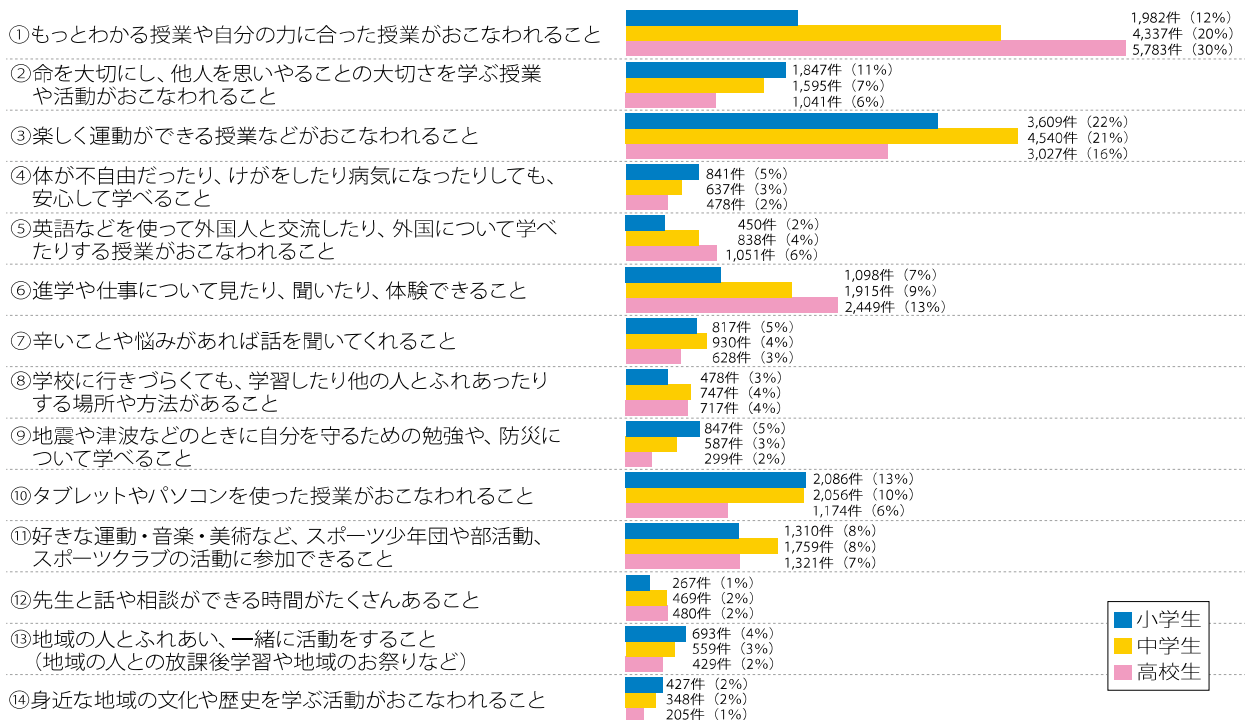
〈全学校区分合計〉

学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと（選択式） 〈回答数：57,636件〉	
①もっとわかる授業や自分の力に合った授業がおこなわれること	12,161件（21%）
②命を大切に、他人を思いやることの大切さを学ぶ授業や活動がおこなわれること	4,528件（8%）
③楽しく運動ができる授業などがおこなわれること	11,271件（20%）
④体が不自由だったり、けがをしたり病気になったりしても、安心して学べること	1,975件（3%）
⑤英語などを使って外国人と交流したり、外国について学べたりする授業がおこなわれること	2,362件（4%）
⑥進学や仕事について見たり、聞いたり、体験できること	5,495件（10%）
⑦辛いことや悩みがあれば話を聞いてくれること	2,395件（4%）
⑧学校に行きづらくても、学習したり他の人とふれあったりする場所や方法があること	1,953件（3%）
⑨地震や津波などのときに自分を守るための勉強や、防災について学べること	1,745件（3%）
⑩タブレットやパソコンを使った授業がおこなわれること	5,386件（9%）
⑪好きな運動・音楽・美術など、スポーツ少年団や部活動、スポーツクラブの活動に参加できること	4,434件（8%）
⑫先生と話や相談ができる時間がたくさんあること	1,245件（2%）
⑬地域の人とふれあい、一緒に活動すること（地域の人との放課後学習や地域のお祭りなど）	1,699件（3%）
⑭身近な地域の文化や歴史を学ぶ活動がおこなわれること	987件（2%）

〈学校区分別合計（小学生・中学生・高校生）〉

学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと（選択式）

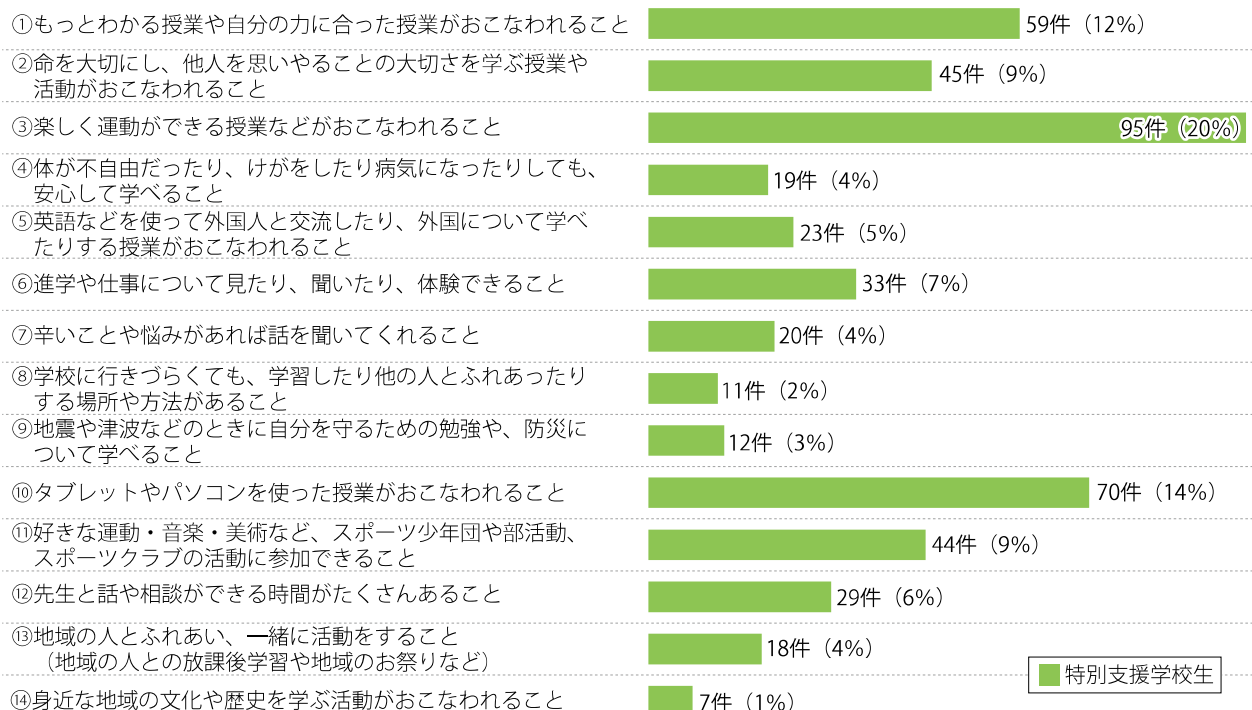
〈回答数：小学生 16,752件 中学生 21,317件 高校生 19,082件〉



〈学校区分別合計（特別支援学校生）〉

学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと（選択式）

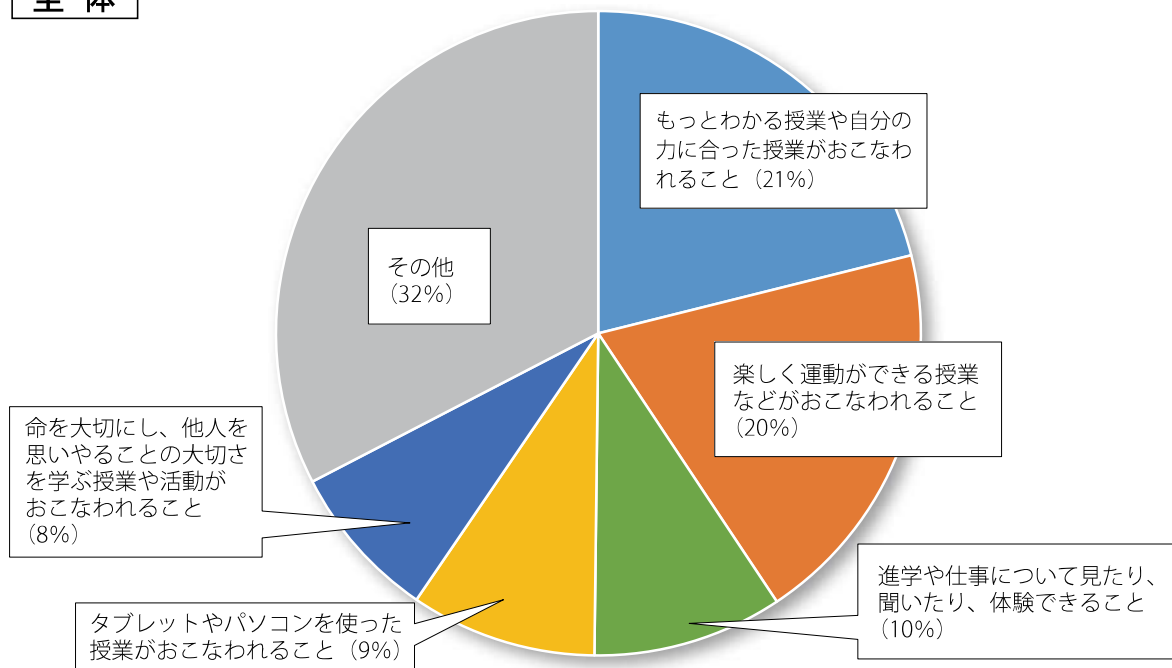
〈回答数：特別支援学校生 485件〉



〈全学校区分合計 上位5項目〉

学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと（選択式）

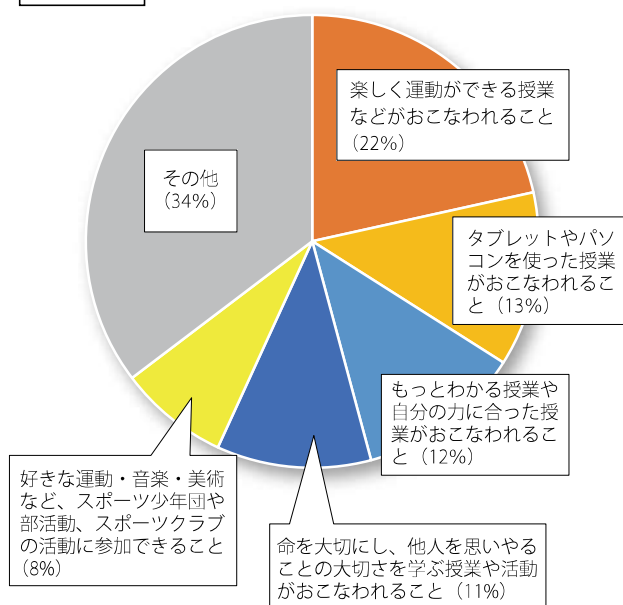
全 体



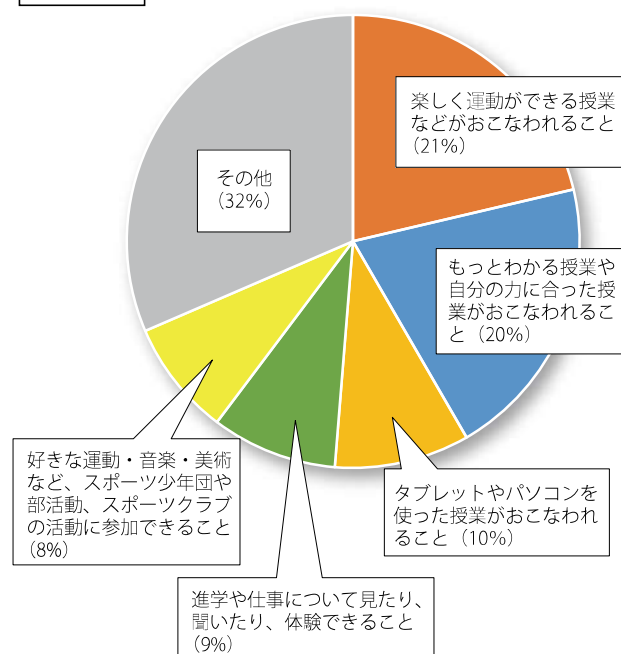
〈学校区分別合計 上位5項目（小学生・中学生）〉

学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと（選択式）

小学生



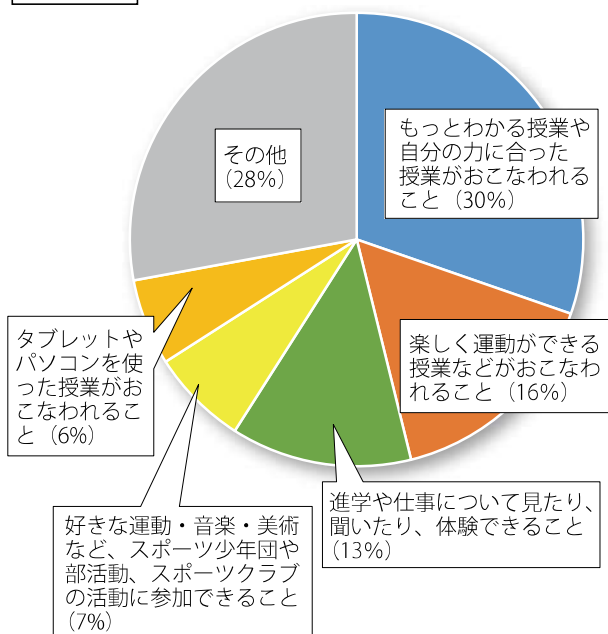
中学生



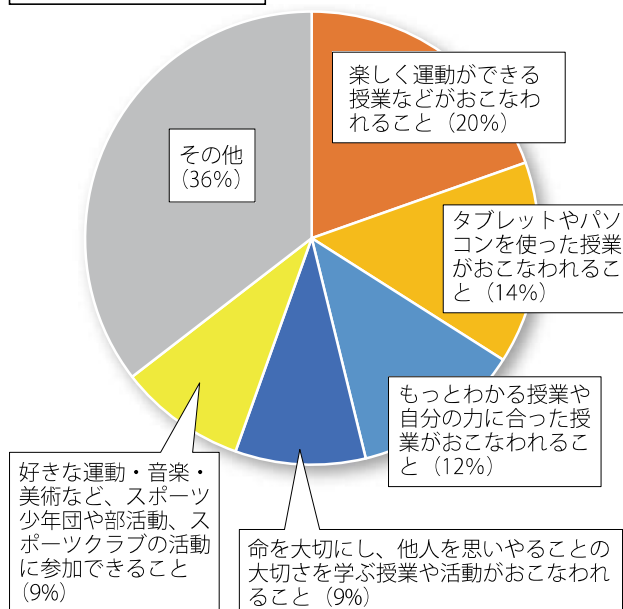
〈学校区分別合計（高校生・特別支援学校生）〉

学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと（選択式）

高校生



特別支援学校生



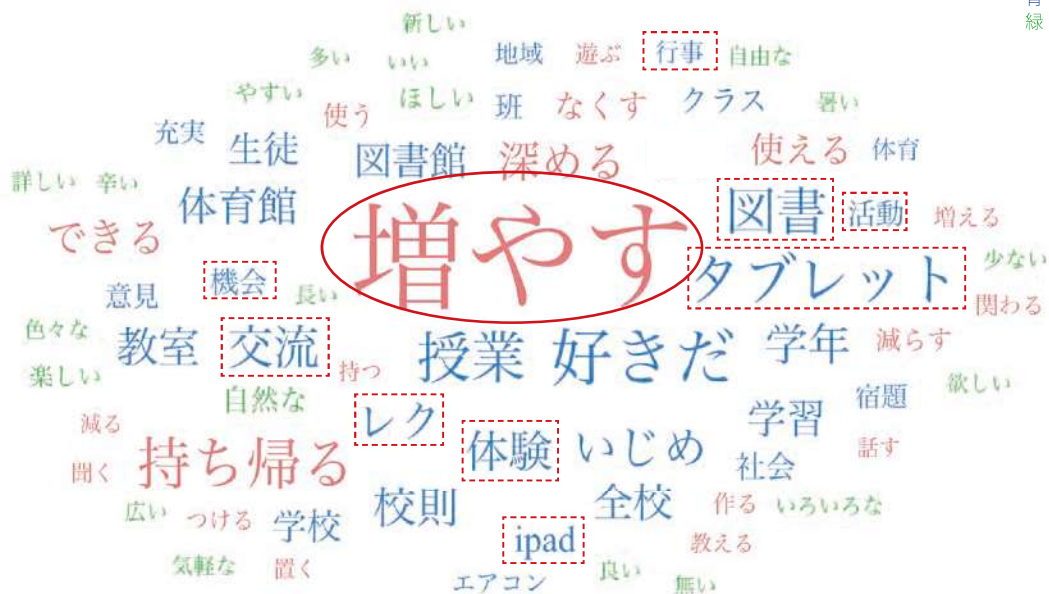
自由記述

学校をより良くするためにこうしてほしいと思うあなたのアイデアをおしえてください。

頻出語句をAIテキストマイニングで可視化

「増やす」の主な関連語句

赤：動詞
青：名詞
緑：形容詞



本調査は、ユーザーローカルA Iテキストマイニングにより分析

(自由記述の主な内容)

学校をより良くするためにこうしてほしいと思うあなたのアイデア (自由記述)

〈学力に関すること〉

- 自然や社会について実際に体験できる授業を増やしてほしい。(小学6年生)
- タブレットを家に持ち帰って、勉強用アプリを使って勉強したい。(中学1年生)
- 習熟度別のクラスをつくり、学力にあった授業をしてほしい。(中学3年生)

〈豊かな心に関すること〉

- 「ルールを守る」ことの大切さをもっと伝えてほしい。(小学6年生)
- 読みたい本があまり図書室にないので、もっと種類がたくさんあると良い。(小学6年生 他)
- もっと芸術教育に力を入れ、一人ひとりの心が豊かになれば、学校での諸問題の解決につながるかもしれない。(高校3年生)

〈健やかな体に関すること〉

- 熱中症の人を減らすために体育館にエアコン、扇風機などを入れてほしい。(小学6年生 他)
- 楽しく運動できる機会を増やしてほしい。(高等部1年生)
- 運動が苦手な人でも楽しく運動をできるような授業をしてほしい。(高校2年生)

〈特別支援教育に関すること〉

- 障がいがある人ない人関係なく一緒に授業を受けられる環境がほしい。(小学6年生)
- タブレットやパソコンをもっと活用した授業が増えてほしい。(中学部2年生)
- 進学先や就職先ではどんな生活をしているのか、社会にはどんな進路先があるのかもっと知りたい。(中学部2年生)

〈グローバルに関すること〉

- 留学のことについてもっと知りたい。(小学5年生)
- A L Tとの交流や英語を母語としている国や地域の方と交流する場を設けてほしい。(中学3年生)
- 英語だけで話す授業をした方が、文法以外のコミュニケーション能力も向上して将来の役に立つと思う。(高校2年生)

〈キャリア教育に関すること〉

- 将来(仕事)について考えることができる授業や場所を増やしてほしい。(中学1年生)
- 自分の進路計画を学年やクラスみんなで共有し合うような時間をたくさん作った方が良い。(中学3年生)
- 地方での農業体験や身近な企業との交流を通じてもっと地方の魅力を発見したいし、社会に出て働くとはどのようなものか体験することで進路選択の判断材料にしたい。(高校3年生)

(自由記述の主な内容)

学校をより良くするためにこうしてほしいと思うあなたのアイデア (自由記述)

〈生徒指導に関すること〉

- 辛いことや不安になった時にいつでも気軽に一人で過ごせる場所がほしい。
スクールカウンセラーの人数、学校に来る頻度を増やしてほしい。(小学5年生)
- いじめなどに関する授業を増やして、いじめは絶対にしてはいけないということを強く伝えてほしい。(中学2年生)
- タブレットを使って担任に気軽に相談できるアプリを作してほしい。(高校3年生)

〈不登校支援に関すること〉

- 学校に通いづらい人や不登校気味になっている人が通えるような場所を作してほしい。
(高校1年生)
- 不登校の人でもリモートワークみたいな感じで自宅学習できるようにしてほしい。(高校2年生)
- スクールソーシャルワーカーの先生と定期的に交流したり、相談専用の教室を設置するなど、悩み事などが相談しやすくなるような環境づくりをしてほしい。(高校3年生)

〈防災教育に関すること〉

- 自分の命を守るための防災授業で、避難に必要なものや避難ルートを話し合う時間があれば、何かあったとしても冷静に行動できると思う。(小学5年生)
- 学校の施設で老朽化しているところや改装しなければいけないところは早急に直してほしい。
(高校3年生)

〈ICTに関すること〉

- AIを取り入れて、個々の知能に合わせて教材や授業内容を変える。(中学1年生)
- タブレットを家に持ち帰って、家でも勉強に活用できるようにしてほしい。(小学6年生 他)
- タイピングやプログラミングなどのICTを使った授業を増やしてほしい。(小学6年生)

〈部活動等に関すること〉

- 部活動と地域との連携・協力をもっとしてほしい。(中学3年生)
- もっと部活動に取り組める環境を作してほしい。(高校1年生)
- 学校の先生が部活動の顧問までするのは負担が大きいと思うので部活動顧問を別に雇う制度を作ってもいいと思う。(高校2年生)

〈働き方改革に関すること〉

- 担任の先生を一人ではなく複数にした方が働きやすくなるのではないかな。(中学2年生)
- 先生たちが本当に忙しくて余裕がなさそうなので、働き方改革の有効な案を募集して今のままの「早く帰れるように意識しよう」といった解決につながらない働き方改革はやめてほしい。
先生に質問するのもはばかれるのでお願いしたい。(高校3年生)

(自由記述の主な内容)

学校をより良くするためにこうしてほしいと思うあなたのアイデア(自由記述)

〈地域協働に関すること〉

- 学校だけではなく、地域とも交流を深める活動をしていけば、もっと地域の人と分かり合えると思う。(中学1年生)
- 地域の人たちと協力して、町おこしができるようにしてほしい。(高校1年生)
- 地域の人や先生、学校の人ともう少し関われるような機会を設けてほしい。(高校 定時制・通信制)

〈文化歴史に関すること〉

- 教室だけで学ぶのではなく、地域の文化に触れ合う体験型の活動があれば良い。(小学5年生)
- 歴史を知るために実際に地域の古墳、神社、寺などに行ってみたい。(中学3年生)
- 学校で調べたりするだけでは地域の文化や歴史についてわからない部分があったりするので、実際に地域のお祭りに参加したりするイベントを開催してほしい。(高校1年生)

〈アンケートに関すること〉

- アンケートを減らしてほしい。(小学5年生)
- このようなアンケートみたいに要望を伝えられる相談箱みたいなものがほしい。(中学2年生)

2. 子どもたちとの対話について

I 実施概要

1. 目的	こども基本法等を踏まえ、新たな「大分県長期教育計画」の策定に際し、子どもたちとの対話を実施することで、教育の当事者である子どもの意見の積極的な反映を志向する。
2. 対話実績	県下5校（小1、中1、高2（普通科1・専門学科1）、特支1）において実施 ＜実施校及び参加人数（開催日）＞※開催日順 ・臼杵市立西中学校 生徒4名（令和6年10月31日） ・日田高等学校 生徒5名（令和6年11月11日） ・新生支援学校 児童生徒6名（令和6年12月13日） ・大分商業高等学校 生徒4名（令和6年12月18日） ・中津市立小楠小学校 児童8名（令和6年12月19日）
3. テーマ	・あなたが思う良い学校ってどんな学校？ ・良い学校にするためにはどんなことが必要？
4. 方法	座談会形式による対話（意見交換） ※ファシリテーター役として指導主事が、子どもの意見表明を支えるサポーターとして教育改革・企画課長（一部の学校）がそれぞれ参加

II 対話の様子

（臼杵市立西中学校・日田高等学校）



(新生支援学校・大分商業高等学校)



(中津市立小楠小学校)



Ⅲ 対話での主な意見と新たな「大分県長期教育計画」に関連する主な取組

タブレットを全く使っていない教科があるので毎時間授業で使ってほしい。スクリーンに画面を映し出すなど、教え方も工夫してほしい。

基本目標1-1 確かな学力の育成 基本目標2-4 D Xの推進によるきめ細かな教育の展開

- ・ICTを効果的に活用した指導方法・指導体制の工夫改善
- ・ICTの活用による、一人一人の理解度・特性に合わせた個別学習環境の創出 など

本を通じて物語に触れる良さをみんなにも感じてほしい。そのためには、図書館の本を増やすことが必要だと思う。

基本目標1-2 豊かな心の育成

- ・公立図書館等との連携による学校図書館環境の充実 など

興味がある部活が学校にないので、種類を増やしてほしい。

基本目標1-3 健やかな体の育成

- ・より良いスポーツ環境の確保・充実に向けた、運動部活動の地域移行の推進 など

良い学校は、「将来の夢に向けてステップが踏める学校」だと思う。学校での経験が将来役立つような授業や活動をしてほしい。

基本目標2-3 主体的に社会の形成に参画できる人材の育成

- ・職場体験など社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実 など

税金のことなど、社会できていく上で役立つことを学校でも学びたい。

基本目標2-3 主体的に社会の形成に参画できる人材の育成

- ・租税や財政の学習、法に関する学習などを通じた、主権者として自立するための基礎的な能力や態度の育成
- ・多様な契約、消費者の権利・責任、消費者保護などの教科横断的な学びの充実 など

学校で使うタブレットが古くて使いづらい。新しいものに更新してほしい。

基本目標2-4 D Xの推進によるきめ細かな教育の展開

- ・子どもたちの学びを止めない観点からの1人1台端末の着実な更新 など

授業によってタブレットの使用頻度が異なる。学校を休んでもデータで資料を共有できるようICTをもっと活用してほしい。

基本目標2-4 D Xの推進によるきめ細かな教育の展開

- ・ICTを効果的に活用した授業づくり
- ・デジタル教材の一層の活用に向けた、最適な通信ネットワーク環境の整備・充実 など

「個性を尊重して互いを認め合える学校」が良い学校。そのために、人間関係プログラムの機会を増やせば互いを知ることができる。

基本目標3-1 いじめ・不登校対策の充実・強化

- ・自己肯定感、自尊感情、他者を思いやる心などを育む「人間関係づくりプログラム」の活用
- ・道徳教育の充実 など

タブレットも活用して自分が抱えている悩みを先生に相談できるようにしてほしい。

➡ 基本目標3-1 いじめ・不登校対策の充実・強化

- ・日常的な挨拶や声かけ、授業や行事等における子どもへの働きかけ
- ・1人1台端末を活用した子どもたちが抱える不安や困りの早期発見・早期対応 など

学校の一番の課題はいじめ。いじめられて学校に行きづらい人の夢や目標を支えてあげることも重要。オンライン授業でサポートしてほしい。

➡ 基本目標3-1 いじめ・不登校対策の充実・強化

- ・校内教育支援ルームやスタディサポートクラブ（補充学習教室）における学習、ICTを活用した自宅学習など、個に応じた効果的な支援の充実 など

学校が過ごしやすい環境であることも大事。体育館にエアコンを設置するなど、学校が避難場所としてもしっかり機能するようにしてほしい。

➡ 基本目標3-2 安全・安心な教育環境の整備

- ・計画的・効率的な長寿命化や省エネ化、バリアフリー化等による安全・安心な教育環境の整備・充実 など

地域住民と一緒にごみ拾いをするなど、交流の機会を増やしてほしい。地域がきれいになるし、地域のことや人を知ることができる。

➡ 基本目標5-2 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

- ・休日の体験活動・学習支援、登下校の見守り等への地域住民の参画・協働の促進
- ・地域振興や産業経済等の地域課題の解決に向けた学習機会の充実 など



ゆもにゅう